

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>3.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.40		-		<b>3.6</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.6</b>	1.00		<b>3.3</b>
1.1 室内騒音レベル		【変更】現地実測による騒音確認(NC-35)		<b>3.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.40		
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.6</b>	0.40		
1 開口部遮音性能		T-2サッシを採用しています。		3.0	0.98	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能		Dr-45を確保しています。		3.0	0.02	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		Lr-50を採用しています。		3.0	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		Lr-55を採用しています。		3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20		
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.1</b>	0.35	<b>3.4</b>	1.00		<b>3.3</b>
2.1 室温制御				<b>3.3</b>	0.50	<b>3.8</b>	0.50		
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能		窓や外壁に断熱性能のある材料を用いている		3.0	0.25	5.0	0.43		
3 ゾーン別制御性		【変更】客室毎に冷暖房が行えるよう冷暖同時対応としている。		4.0	0.37	-	-		
2.2 湿度制御				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.6</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00		<b>3.3</b>
3.1 昼光利用				<b>1.8</b>	0.33	<b>4.2</b>	0.30		
1 昼光率		ホテル共用部:0.87% 客室:1.54%		1.0	0.58	5.0	0.60		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備		昼光利用設備はありません。		3.0	0.42	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.29	<b>3.0</b>	0.30		
1 昼光制御		カーテン、庇によりグレアを制御しています。		3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度		全般照明方式の場合で、300lx≦[照度]<500lxを確保しています。		<b>3.0</b>	0.14	<b>3.0</b>	0.15		
3.4 照明制御		【変更】室内照明は壁スイッチ、ヘッドボードにて細かい照明制御対応。		<b>3.0</b>	0.24	<b>5.0</b>	0.25		
<b>4 空気質環境</b>				<b>4.5</b>	0.25	<b>4.3</b>	1.00		<b>4.4</b>
4.1 発生源対策				<b>5.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質		対象建材はF☆☆☆☆等級の建材を内装全面的に使用しています。		5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気				<b>3.4</b>	0.30	<b>3.3</b>	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				3.0	0.00	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		空気の取入れ口は汚染源のない方向に向けられています。		4.0	0.50	4.0	0.33		
4.3 運用管理				<b>4.9</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.03	-	-		
2 喫煙の制御		喫煙室を設け、それ以外のエリアは禁煙エリアとしています。		5.0	0.97	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-		<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>				<b>4.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	1.00		<b>4.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>4.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	0.00	3.0	0.50		
2 高度情報通信設備対応		【変更】OAコンセント容量50VA/m <sup>2</sup> 以上(共用部分)、Gbitクラスブロードバンド利用可能(宿泊部分)		5.0	0.00	5.0	0.50		
3 バリアフリー計画		車いす利用者客室、聴覚障害者対応客室を設けバリアフリー法を満足		3.0	0.99	-	-		
1.2 心理性・快適性				<b>4.9</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観				3.0	0.02	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.00	-	-		
3 内装計画		【変更】取組数の増加(モックアップによる検証)(共用・宿泊部分共通)		5.0	0.97	5.0	0.50		
1.3 維持管理				<b>4.5</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		外部に露出する金属部材にメッキ処理等配慮しています。		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		清掃員控室内に、洗い場を設置しています。		5.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.8</b>	0.30	-	-		<b>3.8</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>4.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		基準法に定められた耐震性能を有しています。		4.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		制振装置を導入し、強風時の居住性向上に配慮しています。		4.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.4</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種類の2種類以上にC以上を使用しています。		4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		16年以上~30年未満としています。		4.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				<b>4.2</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		評価する取組が3つ以上		5.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		評価する取組が4つ以上		5.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		【変更】引込キャリアの複数化、UPSの設置		5.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.5</b>	0.30	<b>2.4</b>	1.00	<b>2.9</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.02	<b>1.8</b>	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.02	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.6</b>	0.97	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛める事なく修繕・更新できます。	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	更新に対応した仮設スペースを確保しています。	4.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	バックアップ設備の為のスペースを計画的に確保しています。	4.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		BPI <sub>m</sub> =0.86(省エネ適合判定計算書より)(変更)	<b>4.4</b>	0.20	-	-	<b>4.4</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.79 (変更)	<b>3.2</b>	0.50	-	-	<b>3.2</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.5</b>	0.20	-	-	<b>3.5</b>
1.1 節水		節水コマの採用と節水型機器の採用を図っています。	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.3</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	雑排水を利用しています。	4.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.8</b>	0.60	-	-	<b>3.8</b>
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		地下既存躯体を利用する計画としています。	5.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上りが容易に分別可能としています。	3.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20	-	-	<b>3.3</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		指定化学物質を含まない材料を積極的採用を図っています。	<b>4.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して50%以下です。	<b>3.7</b>	0.33	-	-	<b>3.7</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.2</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な台数を確保した駐車スペースを配置しています。	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満足	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	